

# 愛知県みよし市農業委員会（タブレットを活用した利用状況調査）

【農業委員会の体制】（令和2年7月20日任期開始 新制度移行後 2期目）  
農業委員12名、農地利用最適化推進委員9名、事務局職員9名

## 1 地区の特徴・状況、課題

○みよし市は、愛知県のほぼ中央に位置し、名古屋市と豊田市に近接している。水稻を始め果樹や野菜も盛んに栽培されている。近年、農業従事者の高齢化により小規模農家が減少しているが、一方で水稻を中心とする大規模経営体への農地の集積を進めている。また、遊休農地、遊休農地予備軍が増えてきており、如何に担い手に集積、集約化し有効に利用していくか課題となっている。

## 2 課題解決に向けた活動（取組と工夫）

○平成29年度から市単独予算でタブレットを2台導入し利用状況調査で活用している。方法は市内を13地区に分け地区毎に農業委員・推進委員と事務局による調査班を編成。役割分担として農業委員・推進委員は、利用状況調査前に地域の農地状況と現況把握に努め、事務局は現地調査の際、タブレットによる位置確認、写真撮影などの記録を行い、地権者への今後の意向確認等を行った。

## 3 活動の成果

○タブレット端末を活用することで、GPS機能と台帳データが連動できるため①調査対象の農地情報の正確な記録、②利用状況調査の資料作成、調査結果のとりまとめ等の事務量の大幅な省力化、③農地の集積、集約化に向けて施策を展開する際に把握した農地情報の有効活用ができた。

